

学薬だより

山口県学校薬剤師会

2 月度定例理事会報告

報告者 理事 中村 光宏

日時：平成 27 年 2 月 1 日（日） 10：00～11：00

場所：山口県教育会館 5F 第1研修室

出席者：(理事・役員)：藤井 邦夫、沖田 敏宣、西村 正広、中本 光子、中村 光宏、
川添 真一、深田 慎治、為近 純子、福田せい子、渡辺眞美子、
渡辺 章代、年光 久美、小林 晃子、井向 雅美、河田 尚己

議事事項

(1) 中国四国ブロック会議報告（1月31日岡山）

各県より 29 名の参加があった。日本薬剤師会も役員改正がありこれから本格的に活動していく。

各県ごとに学薬会費の徴収方法が異なり、山口県としてもこれから検討する必要がある。

(2) 第 39 回山口県学校環境衛生研究大会について

事務連絡として演題の提出期限締め切りの確認

(3) 日薬学からの連絡事項

3 月 4 日 日本薬剤師会学校薬剤師部会担当者会議 沖田・西村出席予定

3 月 12 日 平成 26 年度日本薬剤師会学校薬剤師部会くすり教育研修会で柳井市立柳井中学校の保健体育教諭が事例報告を行なう

(4) その他

① 県教育委員会歓送迎会について

4 月 9 日、4 月 10 日、4 月 16 日で県教委と調整

② 来年度第 1 回学校薬剤師研修会

7 月 26 日を第一候補とし予備日として 7 月 12 日を設定

会場は山口南総合センターを予定している。

③ 検査機器の発送について

発送費用は県学薬で負担している状態。

ホルムアルデヒド検査の消耗品の購入は基本的には支部単位で購入し、足りない物に関しては支部間での調達等を検討

- ④ 市町学校保健会等からの講演依頼について
学校や教育委員会からの依頼が有る場合は、絶対に断らない事。
また各支部で講師を選定し対応するものとする。支部にて講師選定が不可能の場合は県学薬に相談するように。
 - ⑤ 愛知県学校薬剤師会の検査100%に向けての取り組み
学校側と検査の日程等をグラフにわかりやすく書く事で確実に検査を行うようになっているので、それを参考に山口県も100%を目指す。
 - ⑥ 日本環境感染学会発表について
「畳に対する熱水消毒法の検討」を発表予定
- (5) 次期理事会の開催について
歓送迎会の日程に合わせて開催予定とする。

学薬だより

山口県学校薬剤師会

平成26年度第2回理事・支部長会報告

報告者 理事 中村 光宏

日時：平成27年2月1日（日）11：00～12：00

場所：山口県教育会館 5F 第1研修室

出席者：(理事・役員)：藤井 邦夫、沖田 敏宣、西村 正広、中本 光子、中村 光宏、
川添 真一、深田 慎治、為近 純子、福田せい子、渡辺眞美子、
渡辺 章代、年光 久美、小林 晃子、井向 雅美、河田 尚己
(支部長)：岩重 千砂、村重 和子、大戸富美子、伊藤 由紀子、西村 正
広、山内 裕之、尼崎 美奈子、末田 淳子、小林 晃子、槇野
修二、真瀬 真佐子、田村 有基、横尾 吏

議事事項

- (1) 第39回山口県学校環境衛生研究大会について
平成27年5月22日（金）に県教育委員会館で開催。
特別講演ではノロウイルス対策についての講演を予定。
- (2) 各支部への依頼事項
 - ① ホルムアルデヒド検査の実施について→県では検査キットを5台所有
消耗品のタブレットに関しては学校側に購入してもらうことを前提とし、不足分については各支部間での調達等に対応する。
 - ② 実施した「たばことガンに関する出前講座」の報告書を早急に提出する。
 - ③ 地域の学校保健連合会等から講師の依頼があった際には支部にて講師選定等の対応を行なう。支部内にて対応困難な場合は県学薬からも派遣することは可能。
 - ④ 年間検査計画表について
愛知県の使用している検査計画表の紹介と利用のすすめ。
- (3) 各支部における現状報告について
 - (下松支部)
会員が微増。興味を持っている若い薬剤師はいる。
2支部にまたがっている会員の会費についてはどのようにしたらよいのか？→重複支払が無いように支部どうしで話し合い決めてください。
 - (新南陽支部)

会員の補充が出来ない。定期検査の実施に関して会員での認識に差がある。

(防府支部)

20名で45校を担当している。今年度騒音計と黒板検査色票を購入した。

(宇部支部)

検査の回数が徹底されていない為今後市教委と話し合いを行う予定にしている。

(萩支部)

来年度は2年に1回の交代の年であり、新人学校薬剤師向けの講習を行う予定にしている。

各支部より質問事項について

(岩国支部・防府支部・萩支部)

PEN食器の洗浄に関する質問→給食部会・研究委員会にて協議検討。

(宇部支部)

ガス検知管は「北川式ガス採取器」を使用しないといけないのでしょうか？最近ではデジタル式の物もあり代用できないか？また給食室の検査についてもデジタル式を使用しても良いか？

→デジタル式はあくまで目安となるものであり、学校環境衛生基準に記載の検査方法で検査を実施する事。

(美祢支部)

厨房と給食室の照度基準を教えてください。

→給食室は厨房と考え500lux以上を基準としてください。

(長門支部)

各学校の学校保健員会の内容等をYPジャーナル等で共有できると良いと思う。

インフルエンザの発生状況の情報共有について

→山口県感染症情報センターのHPにて確認できます。

学薬だより

山口県学校薬剤師会

平成26年度

山口県学校薬剤師会第2回研修会報告

報告者 理事 中村 光宏

日時：平成27年2月1日（日）12：50～16：30

場所：山口県教育会館 5F 第1研修室

参加者：60名

【1】 青少年の薬物乱用の実態とその背景

講師：山口県警察本部 刑事部 組織犯罪対策課 課長補佐 藤田 尚宏

危険ドラッグの現状として暴力団が販売組織等を裏で操作している事から、撲滅するためには暴力団を壊滅することが重要である。

またインターネットを活用して自宅での密売等も行われている。

山口県内での検挙事例の紹介

【2】 薬物乱用防止教育の取組と課題

講師：山口県健康福祉部 薬務課 麻薬毒劇物班 主任 三輪 宗久

現在第4次薬物乱用防止5ヶ年戦略中。

薬物乱用防止教室の山口県実施率100%の紹介。その際の講師については学年が上がる毎に学薬の関与率が低下している。

薬務課としての啓発資材の紹介

【3】 平成26年度厚生労働省薬物乱用防止中堅指導員研修会に参加して

① 山口県学校薬剤師会 学校薬剤師 堀岡 由紀子

(徳山支部 神女薬局)

薬物乱用とは「ルール」を違反して薬物を使用する事。

薬物乱用の現状として「捕まる薬物」→「捕まらない薬物」である危険ドラッグや向精神薬へシフトしており、これらは、大麻・覚せい剤へとつながるゲートウェイドラッグになりつつある。

神経細胞を壊死させることで自分の体をコントロールできないようにさせる。
誘われた時の断り方について。

- ② 山口県学校薬剤師会 学校薬剤師 野原 真吾
(周東総合病院 薬剤科)

薬物乱用者に目立つ動機として「好奇心」「仲間に誘われて」が目立つ事から、
子ども達への指導もその点も踏まえ考える必要がある。

薬物乱用防止リーフレットの紹介と使用方法の解説
子ども達への指導として薬物の危険性や違法性を紹介することに加え、今後は具体的
な断り方や対処法を伝え、断る勇気の土台である「健全な自己肯定感」についても
解説していく必要がある。

【4】正しい学校環境衛生検査方法

講師：山口県学校薬剤師会 理事 中村 光宏

水道法による水質区分の解説。

学校からのよくある質問とその回答例の紹介。